

学校評価報告書

1 学校評価のねらい（学校・園としての受け止め）

- (1) 地域に信頼と支援を受け、生徒が楽しく通う学校をつくるため。
- (2) 評価を通して、学校教育の見直しを行うため。
- (3) 新しい学校像を築くための参考資料とするため。

2 評価の方法（自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等）

- ・ 自己評価（教職員） 2回アンケートによる
 - ・ 学校評価（生徒） 2回アンケートによる
 - ・ 学校評価（保護者） 1回アンケートによる
 - ・ 学校関係者評価（学校運営協議会委員） 1回アンケートによる
- ※本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学校運営協議会が予定どおり開催できず、評価の機会が少なくなった。

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化

- ・ 豊里中学校に通うのは楽しい … 86.0% (R3) ←83.4% (R2)
- ・ 進んで授業に取り組んでいる … 89.9% (R3) ←86.1% (R2)
- ・ いじめをしない させない ゆるさない … 96.1% (R3) ←95.1% (R2)
- ・ 学校は生徒の安全を守る取組を行っている … 94.3% (R3) ←88.4% (R2)

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

本校の学校教育目標は「・自ら進んで学習する生徒 ・正しい判断力を持った生徒・明るく思いやりのある生徒 ・強くたくましい生徒」である。また、学校経営方針として、「笑顔（立志）・温もり（忠恕）・信頼」の3つの柱を掲げている。これらの具現化に向けた指標については、主に次のとおりである。

(教職員)

- ・ 校長の経営理念の下、学校教育目標の具現化に向けた取組が実践されている …100% (R3) ←93.7% (R2)
- ・ 全教職員の共通理解の下、「学校が好きだ」と言える生徒の育成を図るために、具体的な取組が実践されている …100% (R3) ←62.5% (R2)
- ・ 学校は生徒の良き可能性を認め生徒の夢とところざしを育む取組をしている …100% (R3) ←81.2% (R2)
- ・ 深谷の子「6つの誓い」の具体的な取組が実践されている …100% (R3) ←62.5% (R2)

(生徒)

- ・家では宿題の他にも自主学習をしている …82.2% (R3) ←82.7% (R2)
- ・学校の決まりや社会のルールを守っている …93.8% (R3) ←94.4% (R2)
- ・友達や仲間のために励ましや助言をしている …84.5% (R3) ←84.0% (R2)
- ・いろいろなことに前向きに取り組んでいる …87.6% (R3) ←75.6% (R2)

(保護者)

- ・学校は生徒の良さや可能性に向けての支援に努めている…89.4% (R3) ←85% (R2)
- ・学校は規律たたく、思いやりのある生徒を育てている…91.5% (R3) ←84% (R2)
- ・学校はいじめのない学校づくりを行っている …73.8% (R3) ←76% (R2)

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

本校の本年度の学校研究課題は「ふるさとを愛し、豊かな心を育む道徳教育の実践～自他ともに尊重し、よりよく生きようとする生徒の育成を目指して～」である。本項目に関わるものの中で、主に以下のものがある。

- ・進んで授業に取り組んでいる … 89.9% (R3) ←86.1% (R2)
- ・係、委員会の自分の役割、
自分の仕事分担が果たせている … 93.8% (R3) ←96.6% (R2)
- ・将来の夢や目標を持っている … 76.7% (R3) ←75.0% (R2)
- ・授業で力がついたと実感している … 86.0% (R3) ←83.3% (R2)
- ・いろいろなことに前向きに取り組んでいる … 87.6% (R3) ←75.6% (R2)

4 次年度に向けての展望

※年度間の変化をみとり考察する

本年度の学校研究課題の大きな柱として、道徳教育の充実を掲げた。そのねらいとして、人権尊重、自己の人生をよりよく生きようとする心、自他ともに尊重し合う心の育成をとおして、豊かな人生を送ろうとする姿勢と豊かな心を育むことができると考えたからである。

生徒の学校評価について、前年度と比較してほとんどの項目の評価数値が上がった。このことは、生徒はポジティブに前向きに物事を考えられるように変容したと考える一方、コロナの影響により、評価数値が下がってしまった項目もある。

生徒の学習面と学力について、生徒の学校評価の数値には反映されていないが、埼玉県学力・学習状況調査において、生徒の個人内評価が上がった。今後も家庭や地域との連携をなお一層図りながら、指導の工夫・改善を重ね、生徒の意欲や意識を高め、よりよい習慣を身に付けさせる。そして、生きる力を培い、生徒自らが自己実現に向けて力強く歩んでいけるように指導、支援していく。